

「原水爆禁止 2020 年世界大会(オンライン)」に御参加の皆様  
様の熱意に深く敬意を表します。核兵器の廃絶と恒久平和の実現は、  
人類普遍の願いです。この世界大会が大きな成果を挙げ、  
被爆地広島・長崎から核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けた  
力強いメッセージがオンライン開催を通して、より多くの世界  
の人々に届けられることを願っています。

昨年の 12 月には、第 74 回国連総会において、56 か国の共同  
提案国を代表して、我が国政府が提出した「核兵器のない世界  
に向けた共同行動の指針と未来志向の対話」の決議案が、核兵  
器国や核兵器禁止条約を支持する国を含む 160 か国の賛成によ  
り採択されました。決議では、核兵器の究極的な廃絶へのコミ  
ットメントを再確認し、核兵器不拡散条約運用検討会議を見据  
えつつ、国際社会が一致して取り組むべき行動の指針と未来志  
向の対話の重要性を強調しています。

こうした行動と対話の積み重ねによって、世界が被爆の悲劇  
を見つめ直し、核兵器廃絶の機運が盛り上がっていくことを期  
待しています。

今後とも、平和を願う県民の皆様や各自治体と連携し、一日  
も早く、核兵器のない、戦争のない、平和な世界が実現するよ  
う、努力を続けてまいります。

2020 年 8 月 2 日

神奈川県知事 黒岩 祐治

終戦から75年、今日、私たちが享受している平和な暮らしは、大きな犠牲の上に築かれてきたものです。そのことを、私たちは決して忘れてはならないと思います。

核兵器の廃絶と恒久平和の実現は、永年にわたる人類共通の願いです。横浜市は、核実験を実施した国に対して、核実験中止、核兵器廃絶、恒久平和の実現に向けた取組を要請する抗議文を送付しています。平成30年6月には、国際平和に寄与することを目的とした「横浜市国際平和の推進に関する条例」が施行されました。この条例に基づき、「国際交流」、「国際協力」、「多文化共生」の取組を更に進め、国際平和の実現に貢献していきます。

新型コロナウイルス感染症や気候変動という、地球規模の危機に直面する中、国を越えて互いに理解を深め協力し合うことが、国際平和につながっていくものと確信しています。横浜市は、今後もピースメッセンジャー都市として、また平和首長会議の一員として、平和の大切さを世界に発信してまいります。

令和2年7月27日

横浜市長 林 文子

## 市長メッセージ

川崎市は、昭和57年に他の都道府県・政令指定都市に先駆けて、非核三原則の完全実施、核兵器の廃絶及び軍縮を世界に求める「核兵器廃絶平和都市宣言」をいたしました。そして、この宣言を市民生活の中で生かし、具体化させるために、さまざまな平和事業に取り組むとともに、核兵器廃絶と世界の恒久平和を願う自治体として、核実験に対して、その都度、厳重な抗議を行い、一切の核実験の中止を求めてまいりました。また、平成30年6月には「ヒバクシャ国際署名」に署名し、平和施策の一層の推進に取り組んでおります。

核兵器をめぐるっては、核不拡散条約（NPT）再検討会議などで議論がなされているところですが、本市も加盟する平和首長会議総会において、「核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議」などが行われるなど、核兵器廃絶に向けた不断の努力が積み重ねられています。

一方、昨今の国際情勢をみますと、世界各地でテロや地域紛争が続いており、人々の生命や人権を踏みにじる脅威はかつてなく高まっています。

戦後75年を迎え、戦争や核兵器の体験を持つ方々は年々少なくなり、人々の記憶から戦争が消えつつあることも否めません。こうした今こそ、悲惨な戦争や被爆の歴史を正しく学ぶとともに、子どもたちに語り継ぎ、平和を守る決意と積極的な行動の大切さを伝えていかなければなりません。

川崎市は、今後とも、国内外の自治体と連携し、「核兵器のない世界」への流れを全力で支援しながら、積極的に平和事業を推進してまいります。

結びに、新型コロナウイルスの感染状況が一刻も早く終息し、さまざまな平和に関する活動に取り組むことができるよう、心から祈念し、メッセージとさせていただきます。

令和2年 7 月 27 日

川崎市長 福田 紀彦

## 「原水爆禁止2020年世界大会」へのメッセージ

世界の恒久平和は、すべての人々の心からの願いです。

しかし、今なお世界の多くの地域で紛争が発生し、多数の尊い人命が失われており、また、人類の生存を脅かす大量の核兵器が未だに存在し続けています。

核兵器廃絶と世界の恒久平和を実現することは、唯一の戦争による被爆国である我が国国民の願いであり、私たちは、その実現のために不断の努力を続け、国際社会において先導的な役割を果たしていかなければなりません。

本市は、昭和59年12月に、「核兵器廃絶平和都市」を宣言し、以来、毎年「市民平和のつどい」を開催するなど、平和思想の普及啓発に取り組んでおります。

皆様方が長きにわたり、核兵器の廃絶と平和を訴える活動を続けておられることに、深く敬意を表しますとともに、「原水爆禁止2020年世界大会」が成功されますようお祈り申し上げます。

令和2年7月7日

相模原市長 本村 賢太郎

## 原水爆禁止 2020 年世界大会(オンライン)に寄せて

核兵器の廃絶、世界平和の実現のため、日々御活動されている皆様に、心から敬意を表します。

本市では、平成5年10月に「小田原市平和都市宣言」を制定し、以後、原爆被災者による戦争体験の講話会や平和パネル展の実施など、平和への意識を啓発する事業を実施しています。

また、平成30年度に日本非核宣言自治体協議会に加入し、他の自治体等との連携を図るとともに、長崎で平和活動を推進しているナガサキ・ユース代表団を講師に招き、中学生を対象に平和への理解を深めるための宿泊学習を実施するなど、更なる平和施策の充実に取り組んでいるところです。

今後も引き続き、平和事業を推進し、市民の皆様には平和への思いを伝えてまいります。

最後になりますが、原水爆禁止2020年世界大会(オンライン)の御成功と、御参加の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、メッセージとさせていただきます。

令和2年(2020年)7月13日

小田原市長 守 屋 輝 彦

## 「原水爆禁止 2020 年世界大会」へのメッセージ

「原水爆禁止 2020 年世界大会」にご参加の皆様及び関係者の皆様に心から敬意を表します。

今年は、広島・長崎の被爆から 75 年という節目を迎えます。

今日では、戦争を体験したことのない世代が国民の大多数を占めるようになり、今の日本において、私達が悲惨な戦争や紛争の状況に触れる機会は少なくなってきました。

しかし、世界に目を向ければ、テロ行為や紛争などが、いまだに各地で繰り返されています。

本市においては、昭和 33 年に全国に先駆け平和都市宣言を行い、「核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のため、世界の人々と相協力してその実現を期する」との考えに立ち、講演会や市内の小・中学校に出向いて平和について一緒に考える出前講話など、幅広く平和推進事業を行っています。

また、核兵器の廃絶の願いを込めて、平成 29 年 6 月 30 日にヒバクシャ国際署名に署名を行っております。

今後も、核兵器廃絶・世界平和の実現に向け、取り組んでまいりましょう。

この大会が、国や地域を越えて平和の声と行動を広める場となりますよう心からお祈り申し上げ、核兵器の禁止と恒久平和の実現への思いを託した私のメッセージといたします。

令和 2 年 (2020 年) 7 月 1 日

鎌倉市長

松尾 崇

# メ ッ セ ー ジ

核兵器のない平和で公正な世界を願い「原水爆禁止2020年世界大会」を実施される実行委員会の皆様方に深く敬意を表します。

戦後、長い年月が経過し、戦争によって引き起こされた悲惨な出来事の記憶は次第に薄くなり、戦争を知らない世代が国民の多数を占めるようになりました。しかし、戦争により心と体に傷を負われた方々、放射能の後遺症に苦しむ被爆者の方々やその家族がおられることは決して忘れてはなりません。

日本は世界で唯一の被爆国であり、核兵器の廃絶と世界の恒久平和は国民共通の願いであります。広島、長崎の惨禍が二度と繰り返されぬよう、戦争体験や被爆体験を風化させることなく、未来を担う世代に、また広く世界に、平和の尊さを語り継いでいかななくてはならないと思っております。

茅ヶ崎市では、「平和都市宣言」、「茅ヶ崎市核兵器廃絶平和都市宣言」を行っており、平成22年5月1日付けで平和首長会議にも加盟しております。平成29年8月には「原爆の子の像」のモデルとして知られる佐々木禎子さんの折った折り鶴が市に寄贈されました。この折り鶴は、市役所本庁舎1階に展示しており、来庁される市民の皆様には平和の尊さを伝えております。

また、市民の皆様から折り鶴を集め、市民ボランティアが千羽鶴にし、市内の小・中学生が平和大使として、広島に献納する「ピーストレイン事業」など、核兵器のない平和な世界の実現に向けて、多くの平和事業に取り組んでおります。

今後も市民の皆様とともに、世界の恒久平和の確立と、誰もが心豊かに、そして平和に暮らせるより良い社会の実現に向けて努力してまいりたいと考えております。

「原水爆禁止2020年世界大会」が実りあるものとなり、平和で美しい地球がいつまでも続くことを願い、メッセージといたします。

令和2年8月

茅ヶ崎市長 佐藤 光

## 市長メッセージ

原水爆禁止2020年世界大会が、関係者の皆様の御尽力により盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。世界平和の実現に向け、原水爆禁止活動に精力的に携わっておられる皆様に深く敬意を表する次第です。

原水爆の禁止に向けた皆様の取組は、世界で唯一の原爆被爆国である我が国から核兵器の廃絶を求めていく大変に意義深い活動です。皆様の活動が、核兵器のない平和で公正な世界への大きな一歩となることを心から祈念いたします。

本市では平成5年に「国際平和と核兵器廃絶を求める都市」を宣言し、平成22年から核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現を目的とする「平和首長会議」に加盟しております。平成27年の長崎原爆の日には、長崎市からお贈りいただいた被爆樹2世のクスノキを厚木中央公園へ植樹しました。本市では、このクスノキを平和の象徴として大切に育てているところです。クスノキの成長や平和メッセージの展示を通じ、核兵器廃絶と平和の尊さを引き続き市民の皆様へ呼び掛けてまいります。

今大会はオンラインでの開催となり、参加者の方々が一同に会することはできませんが、平和を思う皆様の心は一つになっていると確信しております。平和で暮らしやすい世界の実現に向け、この度の大会が実り多きものとなりますよう御祈念申し上げ、激励の言葉とさせていただきます。

令和2年7月吉日

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

厚木市長 小林 幸良





## メッセージ

戦後・被爆75年という節目の年を迎える中、戦争を知らない世代が国民の多数となっております。しかしながら、いまだ多くの方々が原爆の放射能による後障がいや苦しみに、世界平和と人類の生存に深刻な脅威を与えている核兵器が、世界に数多く存在しています。

藤沢市は、1982年（昭和57年）6月に核兵器の廃絶と恒久平和を願う「藤沢市核兵器廃絶平和都市」を宣言しました。また、1995年（平成7年）には、「藤沢市核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」を制定し、「平和の輪をひろげる実行委員会」をはじめとする多くの市民と協力し、平和の意義を普及させるためのさまざまな事業を実施してまいりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業の開催が困難な状況ではございますが、これからも、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けて、人権と平和を守るまちであり続けたいと考えております。

核兵器の廃絶と平和な世界の実現を心から願うとともに、原水爆禁止2020年世界大会にご参加の皆様のご健勝と、大会のご成功を祈念いたします。

2020年（令和2年）7月15日

藤沢市長 鈴木恒夫

原水爆禁止2020年世界大会の開催、誠におめでとうございます。

毎年、核兵器のない平和で公正な世界を求めて大会の開催に向けて取り組んでいる皆さまをはじめ、関係者各位の御尽力に深く敬意を表します。

戦後70年以上が経過したいま、戦争を知らない若い世代に、平和を尊び、愛する心をはぐくむには、私たちが平和意識を普及・啓発することが大切です。

平塚市では、昭和60年12月に、「核兵器廃絶平和都市」を宣言して以来、「アイ・ラブ・ピース」を合い言葉に平和推進事業を実施しています。今後もさまざまな事業を通して、多くの方々が戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさに触れ、平和への想いを実感していただけるよう、努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多方面で厳しい状況が続いていますが、皆さまには力を合わせてこの難局を乗り越えられますよう、心から願っております。

最後に、このたびの大会の御成功と御参集の皆さまの御健康と御活躍を祈念し、私からのメッセージといたします。

令和2年8月吉日

平塚市長 落合 克宏

## 原水爆禁止 2020 年世界大会へのメッセージ

核兵器廃絶を求め、毎年原水爆禁止世界大会を実施されている皆様に深く敬意を表します。

今年は戦後 75 年となりますが、戦争を知らない世代が多くなっている中、私たちは、唯一の被爆国の国民として、戦争によって引き起こされた悲惨な出来事を風化させず、絶え間なく後世に伝えていくことが使命であると考えます。

南足柄市においては、昭和 60 年に市議会において「核兵器廃絶平和都市宣言」を決議しました。決議以降、毎年「平和を願う折鶴事業」として当市の小中学校の児童生徒をはじめ、多くの市民の願いを込めた千羽鶴を広島と長崎に送り、また「平和映画会」を開催するなどして、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え続けています。

今後も継続的な平和事業の展開により、次の時代を担う子供たちや、多くの市民に対し平和意識の高揚を図り、核兵器の無い平和な世界の実現に向けて努力してまいります。

最後になりましたが、このコロナ禍にあっても平和活動に尽力されている皆様に改めて敬意を表します。原水爆禁止 2020 年世界大会のご成功とご参加の皆様方のますますのご健勝を心からご祈念申し上げ、メッセージといたします。

令和 2 年 7 月 9 日

南足柄市長 加藤 修平



「原水爆禁止 2020 年世界大会」にご参加の皆様並びに関係者の方々のご尽力に敬意を表します。

広島・長崎に原子爆弾が投下されてから 75 年が経過する今日も依然として、世界各地では紛争が絶えず、人々は未だに核兵器の危機にさらされています。戦争を経験していない世代が国民の大多数を占めるようになり、その悲惨な記憶が次第に薄れる中で、私たち自治体の持つ役割は大きく、核兵器廃絶と世界の恒久平和のため、一層の努力をしていかなければならないと考えています。

平成 16 年 4 月に「逗子市非核平和都市宣言」を行った本市におきましては、市民の活発な非核平和推進活動促進のため、平成 17 年から逗子市被爆者の会との共催で「原爆と人間展」を、平成 23 年からは市民団体が中心となって企画・運営する「ずし平和デー」を共催するなど、様々な取り組み、活動を行っています。

今後も、より多くの方に平和な社会の実現について考えていただける機会を設けるとともに、地域の皆様が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、皆様のますますのご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。

2020 年（令和 2 年）8 月 2 日

逗子市長 桐ヶ谷 覚

逗子市

青い海と みどり豊かな 平和都市

「原水爆禁止 2020 年世界大会」にご参加の皆様をはじめ、長年にわたって核兵器のない平和で公正な世界の実現に向けてご尽力されている皆様の取組に対し、心より敬意を表します。

「核兵器も戦争もない平和な世界」の実現を目指し、安心して暮らすことができる世の中を世界人類が願っているにもかかわらず、世界各地では紛争やテロが続き、尊い命が奪われるなど、恒久平和は実現していません。

三浦市では、昭和 29 年の太平洋ビキニ環礁における水爆実験により、三崎港から出漁していたマグロ船が被爆し、マグロ船主と市場経済は大混乱になったという、悲惨な体験をしています。

そのような歴史的体験をふまえ、本市では平成 3 年に非核三原則の完全なる遵守を求め、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を願う「核兵器廃絶平和都市宣言」を行い、翌年には「折鶴」をモチーフとした平和祈念モニュメントを建立しました。また、「平和首長会議」へ加入し、平和を愛する心を次の世代へ繋いでいけるように願いを込め、非核・平和に向けた活動を進めております。

核兵器全面禁止・全面廃絶を求め、真の恒久平和を実現することは、世界で唯一の被爆国である日本の、そして人類普遍の願いであり、同時に私たちの責務でもあります。

「核兵器のない世界」の実現をめざした本大会の平和を祈る取組が世界の人々の心に届き、世界平和の礎となりますよう祈念しメッセージといたします。

令和 2 年 8 月

三浦市長 吉田英男

## 祝 辞

核兵器のない平和で公正な世界を目指す「原水爆禁止2020年世界大会（オンライン）」の開催を心からお祝い申し上げます。

広島・長崎への原爆投下から75年を迎えようとしている中、核兵器廃絶の実現に向けた活動について、本大会の担う役割は非常に大きなものと存じます。

欧米、アジア問わず世界が大きく動いている中、日本は世界で唯一の核兵器による被爆国としてその経験を子や孫に、また、全世界の人々に伝え、核兵器廃絶をより強く訴えていく義務があると考えております。

真鶴町におきましても、昭和59年6月に「非核平和都市宣言」を行いました。戦争がない平和で安心して暮らせる世界が訪れることを願うとともに、今後も町民が幸せに安心して暮らせる社会の実現のためにも日々努力してまいります。

最後になりますが、原水爆禁止世界大会実行委員会の皆様の一層のご活躍を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。

令和2年7月10日

真鶴町長 宇賀



## 原水爆禁止 2020 年世界大会へのメッセージ

「原水爆禁止 2020 年世界大会」の開催に当たり、メッセージをお送りいたします。

「核兵器のない平和で公正な世界の実現」のため、長年にわたり世界大会の開催に御尽力されている皆様に対し、深く敬意を表します。

我が国は第二次世界大戦における大勢の尊い犠牲の上にたって平和憲法を制定し、今日に至っております。

しかし、戦後、長い歳月が経過し、悲惨な戦時の記憶が風化しつつあるとも言われている中で、次代を担う子ども達に核兵器の恐ろしさと平和の尊さを伝え続けていくことが、非常に重要であると考えております。

大磯町におきましては、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現を目指し、昭和 61 年 6 月に「大磯町核兵器廃絶平和宣言に関する決議」を行うとともに、本庁舎前広場に平和宣言記念碑を建立いたしました。

また、平成 22 年 5 月に「平和首長会議」へ加盟し、世界の多くの都市との連帯により、核兵器のない平和な世界が訪れることを強く願っております。

今後も、非核・平和施策の推進に積極的に取り組み、平和の尊さを継承していくとともに、平和意識の高揚に努めていく所存でございます。皆様の核兵器廃絶と世界平和の実現に向けた強い思いが、1 人でも多くの人々に伝わることを心から願っております。

結びに、核兵器のない平和な世界の実現と、参加の皆様のみずみずの御健勝と御活躍をお祈りいたしまして、メッセージといたします。

令和 2 年 7 月 17 日

原水爆禁止世界大会実行委員会 御中

神奈川県中郡大磯町長 中 崎 久 雄

## 原水爆禁止 2020 年世界大会へのメッセージ

核兵器廃絶と平和で公正な世界への実現に向け活動されている皆様に、湯河原町を代表し感謝を申し上げます。

現在、世界各地では、新型コロナウイルス感染症の蔓延により数多くの人々が苦しみ、不安を抱えています。

日頃より、精力的に活動されている皆様におかれましても、様々な問題に直面し、対応にご苦労されていることと存じます。

広島・長崎へ原爆が投下されてから 75 年、今年 4 月に予定されていた核拡散防止条約の再検討会議は延期となってしまいましたが、オンラインという新たな形で、核兵器廃絶への実現に向け取り組まれることに感銘を受けております。

当町におきましても、平和に対する思いは、皆様と同じであり、町民が安全で安心に過ごせるよう、また核兵器の恐ろしさと平和の尊さを伝え続けるため、「日本非核宣言自治体」及び「平和首長会議」への加盟を通し、微力ではございますが、今後も平和思想の普及に努めてまいります。

最後になりますが、この原水爆禁止 2020 年世界大会のご成功と参加する皆様のご健康を祈念しまして、メッセージといたします。

令和 2 年 7 月 15 日

神奈川県湯河原町長

富田 幸夫



## メッセージ

核兵器廃絶と世界の恒久平和を訴え続け、核のない、戦争のない社会の実現にむけて活動をされている皆様に深く敬意を表します。

今年は、広島・長崎に原爆が投下されてから、75年目を迎えますが、今日では、戦争を体験したことの無い世代が国民の多くを占め、多くの方々の記憶から戦争や原爆の悲惨な出来事が次第に薄れてきております。

また、世界各地では、未だに紛争やテロ行為が絶えない現状であり、さらに今年は新型コロナウイルス感染症の拡大により世界情勢が不安定な状況となり、真の平和への道のりは依然として険しいものであると言わざるを得ません。

唯一の被爆国である日本の果たすべき役割として、被爆についての悲惨な経験や、核兵器を使用することの恐ろしさを伝え続け、そして核兵器の廃絶に向けて世界中の人々に訴えていかなければならない義務があると認識しております。

二宮町でも、昭和20年8月5日に駅周辺において米軍機の機銃掃射を受け、尊いいのちが犠牲となり、昭和56年にいのちの尊さと平和への願いを込めて「ガラスのうさぎ像」が多くの皆様のご協力により建立されました。毎年8月には、全国より平和への祈りが込められた数万羽の折り鶴が届き、像に飾られ、平和の象徴となっています。

また、平成26年8月には平和首長会議に加盟し、広島市、長崎市をはじめ、世界の多くの都市と連携をして核兵器のない平和で安心して暮らせるより良い社会の実現に向けて取り組んでおります。

最後になりますが、この原水爆禁止2020年世界大会（オンライン）のご成功とご参加の皆様のご活躍を祈念し激励のごあいさつとさせていただきます。

令和2年7月1日

二宮町長 村田 邦子



「原水爆禁止 2020 年世界大会」にご参加の皆様及び関係者の皆様の熱意のこもった行動に深く敬意を表します。

今年、広島・長崎に原爆が投下されてから 75 年の節目の年であります。日本は、唯一の核被爆国として、広島・長崎の思い胸に、国際社会の核軍縮・不拡散への取組を主導し、核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さを風化させることなく、自国を含めた世界の人々に伝えていかななくてはなりません。

当町におきましても、国際観光地を標榜する町として、その一端を担わなくてはならないと考えており、平成 7 年 12 月に「非核平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶を求めるとともに、平和への決意を表明いたしました。

また、平成 23 年 9 月には、町制施行 55 周年を記念しまして、芦ノ湖湖畔に「平和を願う碑」の建立を行いました。

この「平和を願う碑」の建立は、当町がまちづくりの基本理念である箱根町民憲章に基づき、町民の方はもとより、観光客の方々を含めた多くの人々の幸せと世界の平和に貢献できる町づくりを目指すことを改めて町内外に知らしめるために行ったものでございます。

今後も、悲しい歴史が繰り返されることがないように、核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さを世界の人々に訴えていくことに、町として努力していきたいと考えております。

最後になりましたが、本大会のご成功と、本日ご参加の皆様及び関係者の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げ、メッセージといたします。

令和 2 年 8 月 2 日

箱根町長

山口昇士

## 「原水爆禁止2020年世界大会」メッセージ

「原水爆禁止2020年世界大会」ご参加の皆様及び関係者の皆様方が、恒久平和実現のため、日頃から平和の尊さ、大切さを訴える実践的な活動に取り組まれていることに対し、深く敬意を表します。

我が国に原爆が投下されて75年を迎えますが、地球上には依然として多くの核兵器が存在しており、人類は深刻な脅威にさらされ、世界平和が危ぶまれる状況にあります。

本町では平成4年に「非核平和都市宣言」を、平成26年には「平和首長会議」に加盟し恒久平和の実現のために取り組んでいるところであります。今後も平和の輪をひろげ、誰もが安心して平和で暮らせる社会の実現に向けて努力して参りたいと考えております。

結びに、本大会のご成功をお祈り申し上げますとともに、この大会が夢や希望に輝く子どもたちに平和で美しい地球を残し、全人類の願いである世界平和への大きな流れとなることを祈念し、メッセージとさせていただきます。

令和2年7月13日

神奈川県山北町長 湯川 裕 司

## 原水爆禁止 2020 年世界大会に向けたメッセージ

皆さまが、日頃から平和の尊さ・大切さを訴え、「核兵器廃絶」の運動を展開されていることに対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、世界で唯一の戦争被爆国である我が国日本は、広島・長崎の惨事を二度と繰り返さない決意のもと、平和憲法を守り「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」の非核三原則を堅持し、世界の恒久平和を全国民とともに願っているところです。

これらの精神を踏まえ、開成町では平成7年に「非核平和都市宣言」を行い、平成24年に平和首長会議に加盟し、子どもに主眼をおいたまちづくりに取り組んでいます。開成町民は、核兵器の廃絶を訴え、恒久平和を求め、安全・安心で豊かな暮らしの実現を切に望んでいます。

皆さまには、戦争被爆国として国や世代を超えて核兵器の悲惨さを伝え、核兵器廃絶という大きな目標に向かって積極的な取り組みを継続していただきたいと思えます。

最後になりましたが、世界大会の成功と、皆さま方の益々のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、私のメッセージとさせていただきます。

令和2年7月1日

神奈川県 開成町長 府川 裕一

## 原水爆禁止2020年世界大会へのメッセージ

核兵器の全面廃絶と平和を願い、被爆国日本から世界に連帯の行動を呼びかけ続けておられる貴団体の活動に、心から敬意を表します。

世界唯一の被爆国である我が国は、あの惨禍を決して忘れることなく、二度と繰り返さないために、この地球上から核兵器を廃絶し、未来を担う世代に平和の尊さを伝えていく責務があります。

寒川町は、昭和60年6月に世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、「寒川町核兵器廃絶平和都市宣言」を行いました。町の玄関ともなる寒川駅前には、核兵器も、戦争もない世界を願う懸垂幕を設置し、町民や来町者へ、町としての強い平和への意志と平和の尊さを伝えるメッセージを広く発信しております。

新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願うとともに、今後も世界の恒久平和の実現に向け、核兵器の廃絶、平和思想の普及に向けた取り組みを進めてまいります。

結びになりますが、原水爆禁止2020年世界大会のご成功と皆様のご活躍を祈念いたしまして、メッセージとさせていただきます。

2020年7月

寒川町長 木村俊雄

## 原水爆禁止 2020 年世界大会へのメッセージ

核兵器廃絶と平和実現のため、長年御尽力されている貴団体に心から敬意を表します。

核兵器不拡散条約の発効から 50 年が経過し、世界中で核兵器の廃絶に向けた取り組みが進められている一方で、地球上には未だ数多くの核兵器が残されており、このような情勢は世界平和の実現に向けて脅威であるものと認識しております。

また、本年は戦後 75 年を迎える節目の年ではありますが、国内では、戦争を知らない世代が多くなるにつれ、戦争の記憶が次第に薄れていくことが憂慮されております。

こうしたことから、愛川町では、あの惨禍を二度と繰り返さぬよう、未来を担う世代に伝え継ぐため、各種の平和事業を通じながら、戦争の悲惨さや平和の尊さなど、平和思想の醸成に取り組んでいるところであります。今後も核兵器の廃絶はもちろんのこと、恒久平和の実現に努力してまいります。

結びに、核兵器のない平和な世界の実現のため、「原水爆禁止 2020 年世界大会」が盛大に執り行われることを願うとともに、皆様方の御健勝と御活躍を心からお祈り申し上げ、メッセージとさせていただきます。

令和 2 年 8 月

愛川町長 小野澤 豊